

平成28年12月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者
1	4	永井拓三
2	9	勝又貞夫
3	17	中沢俊一
4	2	中沢道夫
5	3	広田公夫
6	21	阿部俊夫
7	6	佐藤剛
8	1	田中せつ子
9	8	中沢一博
10	25	若井達男
11	14	清塚武敏
12	5	塩川裕紀
13	20	腰越晃
14	13	塩谷寿雄
15	16	寺口友彦
16	19	樋口和人
17	18	岡村雅夫
18	7	田村眞一
19	10	桑原圭美
計		19名

【質問方式】（いずれも質問制限時間（答弁時間を含まない。）は 30 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問 内 容
1	<p>1 スノートピア事業について</p>
議席	
4	
永 井 拓 三 (一問一答方式)	<p>雪が町に降るということは、良くも悪くも地域の個性だろう。良い部分は経済を循環させる点であることは言うまでもない。一方で、除雪問題を解決することは雪国社会の大きな課題である。そこでスノートピア事業に対して以下を問う。</p> <p>(1) これまでの事業成果と今後の計画について</p> <p>(2) 事業計画と現実のギャップをどのように埋めていくのか。</p> <p>(3) 除雪問題を解決する都市計画はいかに。</p>
	<p>2 南魚沼市の英語教育について</p> <p>いつの間にか社会は英語教育をすることをグローバル化していくことだと認識しているようだが、本当のグローバル化は世界には多種多様な文化や社会があることを理解し、いかにそれに対して壁を持たないことこそがグローバル化の本質であろう。そこで南魚沼市の英語教育について以下を問う。</p> <p>(1) 英語教育の本質をどのように理解しているのか。</p> <p>(2) 体育などの授業をあえて英語で行い、カリキュラムの効率化を図ることはできないのか。</p>
	<p>3 今後の防災教育について</p> <p>(1) これまでとどのように変わっていくのか。</p> <p>(2) 南魚沼市の防災教育の本質はどこにあるのか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
2	1 雪対策について
議 席	
9	(1) 「井戸規制の条例改正に向けて、様々な課題・問題をクリアする」との公約があったが、具体的にはどのように考えているかを問う。
勝	(2) 流雪溝の水確保対策について、具体的に市民の目に見える形で、いつごろまでにどの水で対応しようと考えているかを問う。
又	(3) 除雪、消雪および井戸による地盤沈下も含めた専門の担当課を設置するべきとの考え方があるが、これについての考えを問う。
貞	2 行財政改革と経営改善について
夫	市長の公約に「民間目線でムダを省き、実質公債費比率県内ワースト1から脱却する」とあったが、下記3点について伺う。
(一問一答方式)	(1) 市行政のどこにどの程度のムダがあると認識しているかについて問う。 (2) 民間の経営感覚とコスト意識は重要と考える。市行政のシステム全体の中のムダをどのように省いていく予定かを問う。 (3) 行政の運営に中間決算という考え方を取り入れ、上期の反省点を教訓にし、中間で計画を見直し、下期の改善に活かすということはできないかを問う。
	3 原発再稼働に対する考え方について
	(1) 原子力発電の危険性と、有事における放射性物質拡散の危険性について、どのように認識しているかを問う。
	(2) 現状での再稼働については反対であると聞いているが、「現状での」とはどのような意味かを問う。
	(3) 原子力防災に関する知識の普及啓発、および教育訓練についてはどのように考えているかを問う。

質問 順位	質問 内 容
3	1 水道事業の広域化・民間活力導入に本腰入れよ
議席	
17	
中 沢 俊 一 (一問一答方式)	<p>水道事業の広域化が前向きに検討され始めたことを歓迎したい。広域観光圏、定住自立圏の例を見るまでもなく、自治体の戦略として、もはや自己完結主義では生き残りさえできない時代となったことは明白であるからだ。新市長の選挙公約に「水道料金値下げ」があったが、当座の部分的引き下げ財源の調達よりも、中・長期的なコスト引下げ戦略が重要であることは論をまたない。広域化と並び、大胆な民活導入も必要となろうが「攻める自治体」を標榜する林新市長の見解を伺いたい。</p> <p>2 「地下水条例」改定には合わせ技を駆使して</p> <p>六日町市街地の豪雪を克服し、尚かつ地盤沈下から住民の財産や暮らしを守るといふ、極めて難しい使命を負いつつ制定された、旧六日町時代からの地下水利用・保全条例が明年9月改定される方向に至った。極めて難しい作業となることが予測されるが、以下5点につき改定の要件を質す。</p> <p>(1) 高性能降雪感知器、新設井戸の共同所有等への誘導策及び財源</p> <p>(2) 沈下区域内の既存大型店、区域外の大規模事業所への協力取り付け</p> <p>(3) 流雪溝水源の確保。雪投入自治組織の改革等への市の支援策</p> <p>(4) 民間建造物等で起こり得る訴訟等への対応</p> <p>(5) 「水循環基本法」との整合性</p>

質問 順位	質 問 内 容
4	1 水道料金の引き下げについて
議席	(1) 南魚沼市の水道料金は異常に高いと思うが、市長の認識を問う。
2	(2) 産業建設委員会の調査報告によれば、引き下げは難しいとなっている。過去の過大な投資が一番の原因であり、そのツケを市民に転嫁し続けても良いのか。
中	(3) これまでも一般会計からの繰入れが行われているが、思い切った対応が必要ではないのか。
沢	(4) 高利の借換えが必要だと考えているが、市は国と交渉する考えはないのか。
道	2 TPPへの参加認識について
夫	(1) TPPの原則は関税撤廃であり、国会決議にも反すると思うが、見解を伺う。
(複	(2) 仮に発効すればあらゆる分野で甚大な被害を受けるが、地域の基幹産業である農業分野等での具体的な影響を試算しているのか。
合	(3) アメリカ次期大統領は撤退を表明し、2国間交渉を進めると言っている。日本が承認した内容で譲歩を迫られる事になれば譲歩せざるを得なくなると思うが、市長の見解を伺う。
型	3 住宅リフォーム事業の継続と拡大について
一	(1) 建築関連業者に歓迎されている制度なので次年度も継続できないのか。
問	(2) 実施から7年が経過したが、事業用施設リフォームや商店街リニューアルなどの新たな制度に発展させる考えはないのか。
一	(3) 一度使った方からまた使いたいという声も聞くが、再度の活用を認めてはどうか。
答	
弁	
方	
式	

質問 順位	質問 内 容
5	<p>1 市職員の意識向上を（職員の意識改革）</p>
議席	<p>(1) 市職員は給与に見合った仕事をすべきと思うがどう思うか。</p>
3	<p>(2) 職員研修成果の見える化をどう考えるのか。</p>
<p>広 田 公 夫 （ 一 問 一 答 方 式 ）</p>	<p>(3) 勤務成績評定の公開と給料の昇給額への反映をする計画はあるのか。</p>
	<p>(4) 職員の月例給・期末勤勉の手当引き上げ総額の 3,264 万円を止めるべきと思うがどう思うか。</p>
	<p>2 新潟県で一番高い水道料金の是正を</p>
	<p>(1) 水道料金の高い原因と思われる次の 4 点について、市民が理解できるようにすべきと思うがどう考えるのか。</p>
	<p>①水利権について ②償還金について ③水道の漏水の原因について ④水道料金の未収金について</p>
<p>(2) 水道料金の減免についてもすべきと思うがどう考えるのか。</p>	
<p>3 子どもたちに豊かな未来を</p>	
<p>(1) 総合支援学校の活動を広く市民に知らせる方法についてどのように取り組むのか。</p>	
<p>(2) 小学校・中学校のタブレット教育についてどのように取り組むのか。</p>	
<p>(3) 学力・学習意欲向上に現時点での効果をどう考えているのか。</p>	
<p>(4) 教師・ICT 指導者・児童へのサポート要員を育成して授業時間の拡大に対応してはどうか。</p>	
<p>(5) 自宅での学習対応の環境整備が必要と思うがどう考えるのか。</p>	

質問 順位	質 問 内 容
6	1 水道料金値下げによる水道事業運営について
議席	
2 1	<p>先日、厚生労働省は水道管の老朽化や、少子高齢化に伴う人口減少で将来の人口が 3 割減少し、水需要は 4 割減少するため、全国的に水道事業は立ち行かなくなるという深刻な状況を発表した。市長公約の人口減少の食い止め、若者の仕事場づくりに大きな期待をするが、わが市は建設当初の過大投資が尾を引き、水道事業は深刻な状況だと思う。現状の厳しい中、子育て世帯や単身世帯数はどれくらいあり、高齢者の市・県民税非課税世帯に加えてそれらの世帯の基本料金を 1,000 円値下げすることによる給水収益への影響と、高料金等への影響も具体的に伺う。</p>
阿 部 俊 夫 (一括質問一括答弁方式)	
	<p>2 土地開発公社より取得の財産の運用について</p> <p>今定例会に上程されている第 125 号議案が可決されると、公社所有の財産は全て処分されることとなる。全国の自治体が膨大な公社所有の財産をかかえ、評価額と簿価の大きな差額に苦しんでいる中、この点は大いに評価をするが、取得した財産を今後どのように運用しようと考えているのか伺う。</p>

質問 順位	質問内容
7	林市政が進める行政姿勢の变革と若者雇用
議席	
6	
佐 藤	<p>議会初日の所信表明では、南魚沼市の基盤づくりをした井口市政の後を受けて、「若者が帰ってこられる、住み続けられるふるさと・南魚沼」を基本にした、持続するための市政運営に若き市長の意欲が感じられた。その林市政の始動にあたり、所信表明の中で特に期待する2点について伺う。</p> <p>(1) 市長が考える職員の意識改革と行政姿勢の变革とは。</p> <p>(2) 若者が帰ってこられる南魚沼市のための「雇用」</p> <p style="padding-left: 2em;">①井口市政が進めた若者の雇用確保のための事業の継続と進展の方策</p> <p style="padding-left: 2em;">②総務省の「お試しサテライトオフィス」採択のチャンスにどう取り組むのか。</p> <p style="padding-left: 2em;">③これらの「動き」を最大限活用して林市政独自の若者雇用対策として産業、雇用に繋げる考えはあるのか。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質 問 内 容
8	1 人口減少問題への対策について
議席	市の人口は昨年までの5年間で3,056人減少したと発表されたが、その対策について伺う。
1	
田 中 せ つ 子 (複合型一問一答弁方式)	(1) 広域交流ミーティングパーティーのこれまでの取組実績と評価は。
	(2) 事務局を市が担当し、関心とアイデアのある市民を募り、無償ボランティアチームを立ち上げられないか。
	2 介護職員と看護職員の人材育成について
	ハローワークの求人情報には、介護職と看護職の募集が多いと感じるが、市としての対応について伺う。
	(1) 市の介護職と看護職の人材不足の現状と、その対策はどうなっているのか。
	(2) 働きながら介護資格を取得する人に、その費用を補助できないのか。

質問 順位	質 問 内 容
10	<p style="text-align: center;">南魚沼市の農業施策を問う</p> <p>(1) 平成 29 年度の生産調整の取組と平成 30 年度以降の取組は如何に。</p> <p>(2) 南魚沼産コシヒカリ販売戦略は如何に。</p> <p>(3) 農地中間管理機構の農地集積の現状と今後を伺う。</p> <p>(4) 多面的機能支払交付金事業の成果は如何に。</p>
議席	
25	
<p style="text-align: center;">若 井 達 男</p> <p style="text-align: center;">(一問一答方式)</p>	

質問 順位	質問 内 容
13	1 障がい者の就労支援について
議席	
20	
腰 越 晃	<p>(1) 「就労移行支援」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」「魚野の家等の作業所就労」「総合支援学校の実習」などで取り組まれているが、その成果について如何に把握され、就業教育や作業を通じた就業の重要性や継続性の指導等の将来的な課題や問題はああるか。</p> <p>(2) 南魚沼市における事業所の障がい者雇用の状況</p> <p>①障害者雇用促進法に規定される雇用目標に対して、市内事業所の雇用状況はどうか。</p> <p>②雇用を促進する方策について検討されているか。</p> <p>(3) 就労支援施設の拡充について</p> <p>①魚野の家、セルフこぶし工房、とんとんの作業内容における独自の事業開発、例えば現在取り組まれているベーコン、ハム、カレー、工芸品等の販売向け製造品の拡大、清掃・仕分け・事務などのサービス系事業の展開など、可能であれば拡充し、作業所機能を強化していく考えはないか。</p> <p>②更に、この施設を就労準備施設として民間企業への就労を目的とすること、その後についても失業した場合や新たな就労研修目的に帰って来られる作業所として活用することについて</p>
(一 問 一 答 方 式)	<p>2 市立病院経営計画の策定について</p> <p>市立病院の位置づけ、使命及び計画に基づく経営について新市長に伺う。</p> <p>市立病院の使命から、民間医療機関のように採算性を望むものでもない。しかし、経営に充てられる資源は無限ではなく、相当な経営原資の元に管理されていくべきであり、経営目的を明確にし、如何なる医療を供給し、その財政的な需要と医師や看護師等のスタッフ体制も含めて計画化していくべきである。</p> <p>将来5か年程度の経営・財政計画を策定し、PDCA 管理を徹底していくべきであると思うが市長の考えを伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
14	1 行政が行っている市民サービスについて
議席	(1) 市民バスの今後
13	(2) 住宅リフォーム事業の今後
	(3) 地域コミュニティ事業の今後
塩	(4) 今後、市が設置する総合窓口について
谷	2 学童保育についての現状と課題、そして今後
寿	
雄	

(一問一答方式)

質問 順位	質問 内 容
15	市長の政治姿勢を問う
議席	
16	
寺 口 友 彦 (一問一答方式)	<p>11月20日に行われた選挙によって、第2代南魚沼市長に選ばれた林市長の最初の所信表明が今議会初日に行われた。その所信表明に対して一般質問を行うものである。</p> <p>南魚沼市が抱える最大の課題は、老朽化した公共施設を合併特例債を活用して整理統合することであった。井口市政12年間で、この課題はほとんど手つかずである。</p> <p>市税の減少、人口の減少、少子化、高齢化などは12年前からの課題である。いかにして持続可能な行政システムをつくり、この地に生まれ、この地で育ち、この地で最期を迎え、住んでよかったといわれる故郷を作ることが12年前からの課題であった。</p> <p>南魚沼市の行政サービスは六つの分野に分けて予算化されている。「保健・医療・福祉」、「教育・文化」、「都市基盤」、「産業振興」、「行財政改革・市民参画」、「環境共生」である。この六つの予算の立て方、使い方に対して井口市政を引き継ぐという立場を今回所信表明において明らかにしている。継続するにしても無反省、無批判での継続とはならないであろう。無反省、無批判であるならば新市長は必要ないからである。所信表明の中で、五つのことについての考え方を聞き、新市長の政治姿勢を問うものである。</p> <p>(1) 「責任世代」の自覚のもと、とはどういう意味か。</p> <p>(2) 少子化に起因する人口減少問題への対応は井口市政の対応を引き継ぐ、ということか。</p> <p>(3) 水道料金の引き下げの原資を経営の効率化に求めるのは無理があるのではないか。</p> <p>(4) ふるさと納税という不安定財源を産業振興の原資にするのは、政策の持続性に問題を引き起こすのではないか。</p> <p>(5) グローバルITパークやCCRCなどの井口市政の引継ぎの他に、時代が求める新たな課題とは何を想定しているのか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
16	1 中心市街地の活性化について
議席	
19	私は南魚沼市本庁舎のある六日町駅周辺を南魚沼市の中心地と認識している。
樋 口 和 人 (一問一答方式)	もちろん市内全域がそれぞれの発展をし、活性化していくことが望ましいと考えるが、中でも市の顔、玄関口である六日町駅周辺のいわゆる中心市街地の活性化が、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進していく上で取り組むべき大切な施策だと考える。市長の見解を伺う。
	2 新ごみ処理施設の候補地の選定と今後の進むべき方向について 議会初日の社会厚生委員会の報告では、現在応募している3地区の中から建設候補地を決定するやのように聞こえたが、公募当初の方向性と乖離していないか。他市町との協議はどのようになっているのか。今後のごみ処理施設のあり方はどのような形が理想と考えているのか、市長の見解を伺う。
	3 ディスポート南魚沼の休館日について 現在、ディスポート南魚沼では、基本の休館日が月曜日となっている。この問題については、以前から当市議会議員から再三提案があったが、月曜日でなければ利用が難しい市民も大勢いる。休館日の変更はできないのか市長の考えを伺う。

質問 順位	質問 内 容
17	新市長の政治姿勢を問う
議席	
18	
岡 村 雅 夫 (一問一答方式)	<p>参議院選は森ゆうこが 139 票、知事選は米山隆一氏が 3,345 票差で勝利した。日本共産党は野党と市民の共闘の一翼を担った。勝利の原因は、政治が民意と乖離してきたからと考えている。</p> <p>市長選は、3 候補とも無所属での出馬だったが、自党内の抗争と、企業が絡んだ選挙であった。今後の市政運営が気にかかる。</p> <p>市議の補欠選挙で日本共産党は 3 議席目を目指し、何とか一角を占めた。市民の願いが叶えられる議席であるよう頑張る。一連の動きに所見があったら伺う。</p> <p>前市長の井口一郎氏は自民党員であることを公言していた。林市長は公言できるか。</p> <p>市長は選挙戦で、市民の思いを確認しつつ歩き続けたそうだが、格差と貧困の拡大、疲弊の一端を垣間見たか。それらに手を差し伸べるとき、政権に寄り添う道を選ぶか、立ち向かうかが試される。</p> <p>(1) 自民党県連は柏崎刈羽原発の再稼働を決議している。市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 「国保税が高くて払えない。」と訴える人がいた。軽減策を伺う。</p> <p>(3) 療養病床がゆきぐに大和病院から無くなった。市で計画するとの答弁後の経過を伺う。</p> <p>(4) C C R C を評価し推進というが、市民の理解は進んでいない。概念を伺う。</p>

質問 順位	質問内容
18	子どもの貧困をなくす子育て支援の充実を
議席	
7	
田 村 眞 一 (二 問 一 答 方式)	<p>1990年代後半以降、新自由主義的な経済政策が強行され、所得、資産などあらゆる分野で格差と貧困が広がり、日本の経済と社会の大問題となっている。日本の貧困問題は富裕層への富の集中、中間層の疲弊、貧困層の拡大の3つで捉えられる。格差と貧困の拡大、中間層の疲弊をいかに克服するか、国の経済政策の基本にすえる必要がある。日本社会と日本経済の持続可能な発展にとっても、この問題に真正面から取り組む経済政策が求められる。</p> <p>2013年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」、2014年8月「子どもの貧困対策に関する大綱」が成立した。しかし大綱には子どもの貧困をめぐる現状は数値で示されているが、改善のための数値目標が明示されていない。今、自治体にはこの問題解決に取り組む本気度が問われている。貧困な政策では子どもの貧困は解決しない。「子どもの貧困をなくす」立場で子育て支援の充実を求め、以下市長に見解を求める。</p> <p>(1) 「貧困対策は経済対策でもある」という認識は。</p> <p>(2) 子ども医療費助成の対象を高校卒業まで拡充を。</p> <p>(3) 学校給食費の無料化を。</p> <p>(4) 就学援助制度の充実について</p> <p>(5) 給付型奨学金の創設について</p>

質 問 順 位	質 問 内 容
19	南魚沼市が目指す教育について
議席	
10	<p>市民憲章を教育の視点から具現化するという後期教育基本計画は、現状と課題を理解したうえで策定されており、中身の濃い内容となっている。特に、幼児教育から社会教育・生涯学習に至るまでのサイクルを示しているところに重要性を感じる。</p> <p>今年5月に示された南魚沼市後期教育基本計画について、課題にどう取り組み、どう活かしていくのかを問う。</p> <p>(1) 平成23年度策定の教育基本計画が見直しになった理由</p> <p>(2) 社会教育・生涯学習について、市民が求める高い欲求と市内に高等教育機関がないことへの対応をどう考えているのか。</p> <p>(3) 子ども・若者育成支援について</p> <p>(4) 教員、職員の多忙化が業務に支障をきたしていないか。</p> <p>(5) 土曜日学習の成果と課題。中学3年生対象の高校受験対策コースの実施は可能か。</p>
桑	
原	
圭	
美	(一問一答方式)
(一	
問	